

平成29年度 全国保健師長会 ニュース No. 4 第2回拡大常任理事会報告

平成30年3月 運営会議発行

桜のつぼみを緩ませるような暖かな風が吹き、春をすぐ近くを感じる季節となりました。会員の皆様には、年度末を迎え、ますますお忙しい日々をお過ごしのことと思います。

今回は、第2回拡大常任理事会報告について、保健師長会ニュース No. 4 をお届けします。

《平成29年度 全国保健師長会第2回拡大常任理事会》

◇日時：平成30年3月3日（土）10：00～12：00

◇場所：日本看護協会 301 会議室



《会長挨拶》

代議員総会では皆様のご協力を頂き、深く感謝申し上げます。

児童生徒の自殺予防に向けた教育の推進に対する保健師の関与や、看護基礎教育検討会への参加、母子保健では、乳幼児期、学童期の健康情報を連結し、成人同様にビッグデータとして活用する仕組みを作る等の、大きな動きの中、保健師活動に関連する法案の改正も控え、全国保健師長会の活動も重要となってきます。今後もますます保健師活動への期待が高まりますので、皆様のご協力をお願いします。

議 題	担当者	内 容
(1) 平成29年度代議員総会について（報告）	権平 常任理事	平成29年11月18日（土）に新潟グランドホテルにおいて代議員総会が開催され、代議員138名を含む262名の参加がありました。開催までの準備や全国保健師長会と開催県の役割分担等、運営上の課題や留意点について報告がありました。次期開催県は愛知県です。
(2) 平成30年度年間計画について	谷戸 副会長	平成30年度代議員総会は11月10日（土）愛知県名古屋市で開催予定です。定例の活動として運営会議（12回）、常任理事会（1回）、拡大常任理事会（2回）、理事会（3回）の他、部会、委員会等の予定が示されました。4月28日（土）理事会終了後、40周年事業キックオフ講演会を開催予定です。
(3) 平成30年度調査研究事業について	谷戸 副会長	「未来を創造する公衆衛生看護活動の展開」をテーマに募集中です。3月3日時点で応募件数は1件です。申し込み期限を3月16日に延期し各支部長あてに再募集の通知を行いました。
(4) 平成31年度に向けた国への要望について	岡島 常任理事	各支部から寄せられた意見を集約して要望書（案）を作成しました。記載内容が意見の趣旨を反映しているか等を確認し、3月19日までに事務局まで意見をお願いします。

議題	担当者	内容
(5) 日本保健師連絡協議会について	谷戸 副会長	6団体で構成される日本保健師連絡協議会の活動報告・集会が本日午後に開催されます。今年度5回の幹事会を開催し「生涯を通じた健康づくりにおける健診のあり方を考える」を集会のテーマとしました。全国保健師長会は、健やか親子特別委員会から「乳幼児健康診査における必須問診項目の追加に伴う自治体の取り組み状況調査」について話題提供を行います。また、平野先生が代表を務める「地域保健における乳幼児健康診査のあり方に関する研究班」から研究への協力依頼があり「生涯を通じた健康づくりとしての健診のあり方」に関する情報収集のためのグループディスカッションを行う予定です。
(6) その他 ・広報委員会より	山田 常任理事	会員への情報発信、共有を目的に、各ブロック研修会の開催内容についてホームページへの掲載をお願いします。
・全国保健師長会 40周年記念事業 特別委員会より	浜野 委員長	40周年記念事業として「未来へのメッセージ」をボードに掲示し、会場を盛り上げていきます。各支部から2枚程度手書きのメッセージを募集しますので、ブロック研修会等において周知をお願いします。4月第1回理事会で依頼文や用紙等は配布予定です。総会終了後、メッセージはタイムカプセルに入れ、10年後の活用を考えています。記念誌に掲載する40歳からのメッセージが未提出の支部に再度提出をお願いします。 4月28日(土)15時30分~17時にキックオフ講演会として、現保健所長会会長から「未来を創造する公衆衛生看護活動を展開する保健師に期待するもの」(仮)をテーマとした講演会や、保健指導室長から国の動向についてお話をいただく予定です。ぜひ多くの方に参加していただきたいと思います。

報告事項	報告者	内容
・実効性のある若者自殺対策の更なる強化を求める緊急要望について	嘉代 副会長	1月19日に「児童生徒の自殺予防に向けた困難な事態、強い心理的負担を受けた場合等における対処の仕方を身に付ける等のための教育の推進について」厚生労働省から説明がありました。通知のきっかけは、座間市のSNSを使った殺人事件や議員の緊急要望への対応です。自殺対策には、教育と地域保健の連携が必要であり、23日に発出された通知には、SOSの出し方に関する教育の実施に当たり、保健師等の活用について相談があった場合は適切に対応するよう記載されています。予算や人員配置はありませんが、教育分野から相談がありましたら、可能な範囲で協力をお願いします。
・保健師活動指針推進特別委員会より	金子 委員長	保健師活動指針の策定方法等も含めた策定状況調査を実施しました。統括保健師が配置されているのは71.9%、活動指針は検討・作業中も含め111ヶ所策定されていました。策定方法は、自治体の規模により異なりますが、都道府県と共同で策定している自治体が最も多くなっていました。今後、調査結果を報告書としてまとめ、ホームページに掲載予定です。今後は、指針策定の効果や活用状況について

		<p>も調査を深めていく予定です。</p> <p>自治体によっては、人材育成マニュアルの中に保健師活動の方向性をまとめている場合もあるため、我が町の保健師活動について協議する場があるか、その中で統括保健師がどのような役割を担っているのか等についても調査を行っていく必要があるとの意見が出されました。</p>
--	--	---

報告事項	報告者	内 容
・第6回日本公衆衛生看護学会学術集会について	中 委員長	1月に大阪にて、全国保健師長会特別企画ワークショップを実施し135名の参加がありました。地域に責任を持つ人づくりをテーマに、中堅期の人材育成やリーダーの役割について検討を行いました。参加者からは、自分の自治体を振り返る機会となった等、評価を頂きました。次年度は、平成31年1月に山口県で開催予定です。
・すこやか親子特別委員会報告について	加藤 委員長	乳幼児健康診査における「指標14」児童虐待関連項目の追加に対する市区町村の取組状況及び、「指標14」を活用している3市区の保健師にインタビュー調査を行い、効果や課題を検証し日本公衆衛生学会で発表しました。発表時には、「指標14」を取り入れなかった自治体の意見も聞いて欲しいとの要望もありましたが、調査結果としては、虐待予防の取組を行うための設問及び指標として妥当性があると言えないとの結論に至りました。項目を取り入れたけれどやめられないと感じている自治体が判断する際の参考となるよう研究概要をホームページに掲載します。
・健康寿命の延伸等に資する保健活動検討委員会について	藤本 委員長	<p>看護学会学術集会において発表しました。調査に協力頂いた自治体からは、インタビューを受ける事によって気づきがあった等の感想を頂きましたので、それらを含めて報告書を作成し、ホームページに掲載予定です。</p> <p>また、看護協会が実施する先駆的保健活動交流推進事業に健康日本21に関する特別委員会として参加しました。「ポピュレーションアプローチにおけるアセスメントの実際」をテーマに、先行事例の収集、自治体等のヒアリング、意見交換会等を実施しました。更なる意見聴取や、成果の普及を目的に実施したワークショップには、100名以上が参加されました。地域に責任を持つ保健師として、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを組み合わせる活動していく事の重要性を感じました。今後、報告書やガイドブックを作成予定です。</p>
・看護協会保健師キャリア形成支援事業について	川村 常任理事	H29-30の2カ年計画で実施する看護協会の「保健師キャリア形成支援検討事業」に全国保健師長会として参加しています。H28.3に報告された「人材育成に係る研修のあり方検討会」の内容を受け、市区町村が策定する人材育成計画のポイントや都道府県の支援のポイントについて報告書を作成予定です。
・貸借対照表について	大森 常任理事	代議員総会において、積立金について質問がありました。H21.2に記念事業積立金として口座を開設し、年間約120万円程度積立を行っています。H29.3末までの積立金7,631,972円の内、5,000,000円をH30年度の40周年記念事業予算とします。



《日本保健師連絡協議会 平成 29 年度 活動報告・集会報告》

平成 30 年 3 月 3 日に日本看護協会 JNA ホールにて「生涯を通じた健康づくりにおける健診のあり方を考える」をテーマに活動報告・集会が開催され、行政機関や教育機関、産業保健等様々な立場の保健師が参加しました。

来賓挨拶では、厚生労働省保健指導室の加藤室長から、地域保健行政の推進にあたり厚生労働省として、①保健指導従事者の人材育成、②保健師の人材確保、③生活習慣病予防の取り組みの推進、④東日本大震災被災者の健康管理に取り組んでいるとの紹介がありました。

話題提供①では、「健診をどう位置づけるのか？～保健師の視点とこれまでの取り組み～」をテーマに、2本の話題提供がありました。全国保健師長会健やか親子特別委員会の阿部委員からは「乳幼児健康診査における必須問診項目の追加に伴う自治体の取り組み状況調査」について、全国保健師教育機関協議会の神庭氏からは、昨年度活動報告・集会におけるグループディスカッションのまとめが報告されました。



話題提供②では、厚生労働省母子保健課から「今日の乳幼児健診の状況と保健師の役割」として、データヘルス改革により 2020 年の運用開始を目指し、乳幼児期・学童期の健康情報の一元化による健康情報の引継ぎやビッグデータとしての活用について検討を進めているとの情報提供がありました。

話題提供③では、先進自治体の活動事例の紹介として、岡山県玉野市の「母子保健活動における包括的支援を目指した取り組み」、愛知県武豊町の「データを活用した事業展開～保健師たちが今日も行く～」として、効果的なポピュレーションアプローチの展開等について報告がありました。

後半は、話題提供をふまえ「地域保健における乳幼児健康診査のあり方に関する研究班」の調査研究として「生涯を通じた健康づくりとしての健診のあり方」に関して熱心なディスカッションが行われました。詳細はホームページをご覧ください。

【編集後記】

第 2 回拡大常任理事会は、各委員会や国の会議報告等、盛り沢山の内容で、ニュースでは伝えきれないことも多いかと思えます。会員の皆様に新しい情報や参考となる活動をお届けできるよう、ホームページに情報を掲載していきたいと思っておりますので、有効にご活用ください。（作成：広報委員会）